

令和 5 年度 第 3 回

小林市国民健康保険運営協議会資料

令和 6 年 2 月 13 日 19時から
小林市役所 2階 第1会議室

- 会次第
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 事務局あいさつ（市民生活部長）
 - 4 議長選出
 - 5 議事 議題1 令和6年度 小林市国民健康保険事業特別会計 当初予算（案）について
 議題2 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）について
 - 6 その他 令和6年度からの被保険者証（保険証）の発行について
 先進地視察研修について他
 - 7 閉会

小林市 市民生活部 ほけん課

歳入	予 算 科 目 (款)	6年度当初予算	5年度当初予算	予算_増減	4年度決算	説 明	単位：円
1	国民健康保険税	1,171,129,000	1,185,260,000	△ 14,131,000	1,129,637,126	被保険者から徴収する	
	現年度分	1,125,920,000	1,128,958,000	△ 3,038,000	1,069,438,376	令和6年度課税分の収納予定額（歳出－歳入の差額）	
	滞納繰越分	45,209,000	56,302,000	△ 11,093,000	60,198,750	令和5年度までの未収額分の収納予定額	
2	一部負担金	1,000	2,000	△ 1,000	0	一部負担金（保険者が徴収する場合 ※実例なし）	
3	使用料及び手数料	749,000	751,000	△ 2,000	748,000	督促手数料	
4	国庫支出金	1,000	151,000	△ 150,000	0	国からの補助金等	
5	県支出金	4,262,804,000	4,364,904,000	△ 102,100,000	4,586,482,274	県からの補助金等	
	普通交付金	4,161,081,000	4,257,377,000	△ 96,296,000	4,457,050,347	保険給付費の財源	
	特別交付金等	101,723,000	107,527,000	△ 5,804,000	129,431,927	市町村の個別事情に対して財政支援	
6	財産収入	1,000	1,000	0	6,019	基金利息	
7	繰入金	571,253,000	581,441,000	△ 10,188,000	569,730,831	事務費や人件費などに充てる一般会計からの繰入金	
8	繰越金	1,000	1,000	0	171,097,600	前年度からの繰越金	
9	諸収入	8,744,000	12,401,000	△ 3,657,000	7,987,706	延滞金、第三者行為や給付費の返還金、雑入等	
	歳 入 総 額	6,014,683,000	6,144,912,000	△ 130,229,000	6,465,689,556		

主な 歳入 の説明

① 国民健康保険税

当初予算編成時では、歳出と歳入の差額を予算に計上している。税率は、5月に申告所得額から税収を試算し、6月までに決定する。

② 県支出金

普通交付金：保険給付費の財源となる。被保険者数の減により保険給付費も減少すると見込んで減額した。

特別交付金：特定健診の経費、レセプト点検の人件費、健康ポイント事業の経費、結核精神の医療費など対象経費を積み上げて算定した。

歳出	予 算 科 目 （款）	6年度当初予算	5年度当初予算	予算_増減	4年度決算	説 明	単位：円
1	総務費	155,860,000	155,835,000	25,000	144,683,033	人件費、事務費等	
2	保険給付費	4,189,281,000	4,284,545,000	△ 95,264,000	4,477,954,195	医療費（保険者が負担する分）	
	療養給付費・療養費	3,562,958,000	3,649,606,000	△ 86,648,000	3,829,781,185	医療費の7割又は8割分を国保連合会や被保険者へ給付	
	高額療養費（介護合算含む）	598,122,000	607,769,000	△ 9,647,000	628,626,060	一部負担金の限度額超過分を国保連合会や被保険者へ給付	
	出産育児一時金、手数料等	28,201,000	27,170,000	1,031,000	19,546,950	出産1児50万円、葬祭費1件2万円を給付	
3	国民健康保険事業費納付金	1,558,089,000	1,583,314,000	△ 25,225,000	1,541,511,166	県への納付金（財源は普通交付金）	
4	保健事業費	90,329,000	93,952,000	△ 3,623,000	74,324,566	特定健診、国保ドック、あんまはりきゅう補助	
	特定健康診査等事業費	63,042,000	67,935,000	△ 4,893,000	56,468,909	特定健診等の経費（委託料・事務費）	
	あん摩はり灸費	8,000,000	7,179,000	821,000	6,906,560	1回施術1,000円を補助 年間48回	
	活き活き国保推進事業費	19,287,000	18,838,000	449,000	10,949,097	人間ドック等の経費（事務費） 7,000円を超えた分を補助	
5	基金積立金	1,000	1,000	0	6,019	国保財政調整基金への積立金	
6	諸支出金	11,123,000	17,265,000	△ 6,142,000	27,132,419	還付金等（保険税、保険給付費）	
7	予備費	10,000,000	10,000,000	0	0	予算に不足が生じた場合の財源	
	歳 出 総 額	6,014,683,000	6,144,912,000	△ 130,229,000	6,265,611,398		

主な 歳出 の説明

① 保険給付費

医療機関等や被保険者へ支払う医療費の7割又は8割にあたる金額になる。また、高額療養費や出産育児一時金についても保険給付費になる。

団塊の世代（昭和22～24年生）が後期高齢者へ移行し国民健康保険から抜けるため、医療費（全体）や給付費は、減少すると見込んだ。

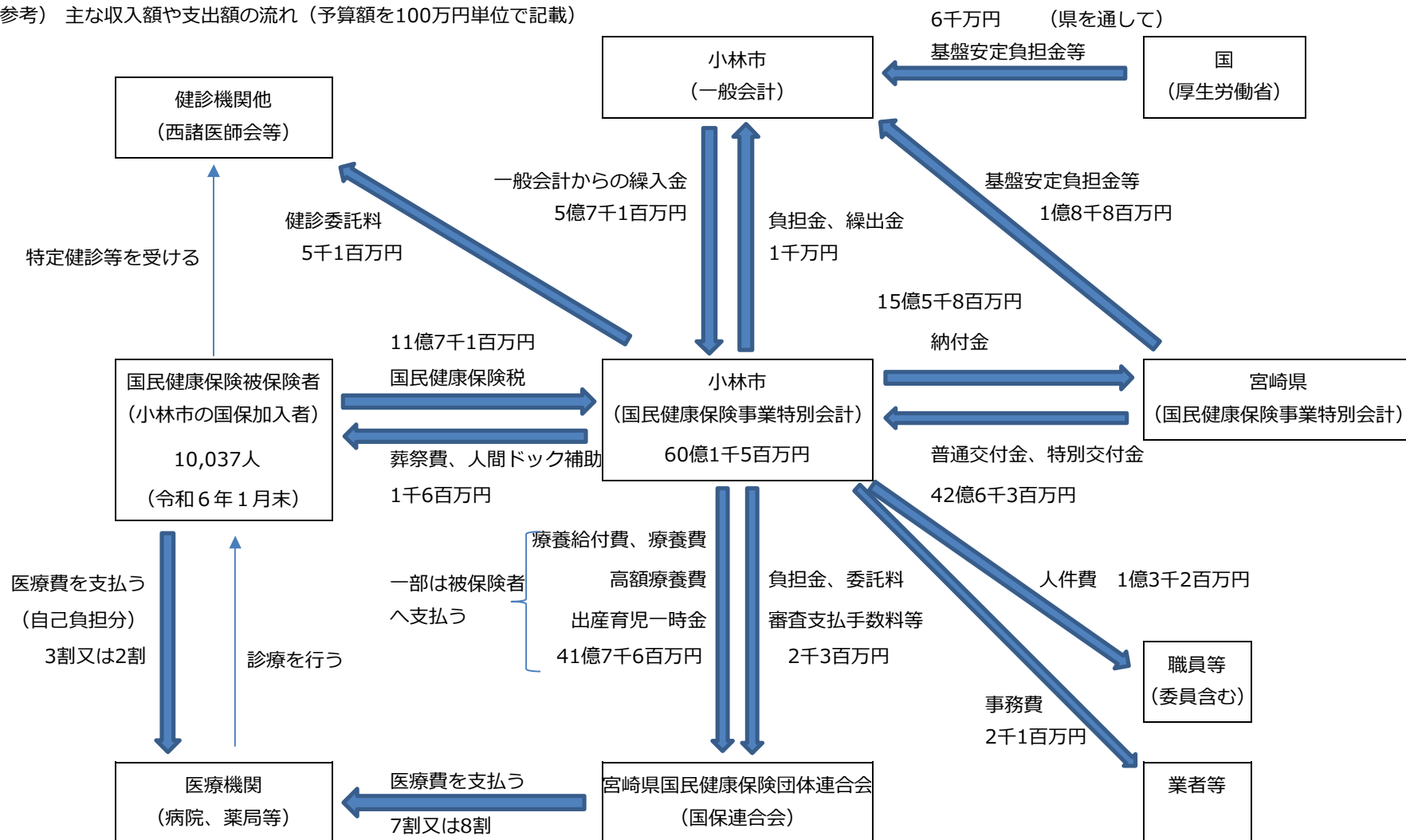
② 国民健康保険事業費納付金

県へ納める金額。県は、市町村が支払う保険給付費を全額負担する代わりに、市町村は、国保税などを財源として県へ「納付金」として支払う。

③ 保健事業費

特定健診や保健指導に係る費用を、健診機関や健診業務を行う事業所へ支払う。また、人間ドックにかかる費用の一部を助成している。

(参考) 主な収入額や支出額の流れ(予算額を100万円単位で記載)



1 被保険者の状況

- ・国民健康保険の被保険者数は、年々減少傾向にある。主な理由は、後期高齢者医療制度（75歳以上）の移行である。
- ・小林市人口の 約 1 / 4 が国民健康被保険者である。

（表）被保険者数等の推移 <各年度 年度末現在>

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年12月31日
世帯数（年度末）	7,472世帯	7,244世帯	7,162世帯	7,015世帯	6,784世帯	6,650世帯
前年度との差	△242世帯	△228世帯	△82世帯	△147世帯	△231世帯	△134世帯
被保険者数（年度末）（人）	12,226人	11,652人	11,358人	10,999人	10,450人	10,065人
前年度との差	△574人	△574人	△294人	△359人	△549人	△385人
小林市人口（年度末）（人）	45,535人	44,892人	44,285人	43,614人	43,147人	42,944人
人口に占める被保険者の割合	26.8%	26.0%	25.6%	25.2%	24.2%	23.4%

- ・国民健康保険の被保険者のうち、半数が65歳以上75歳未満の人である。

（表）年代別被保険者数 <R5.12月末現在>

区分	年齢（歳）	人数（人）	（%）	医療費 自己負担割合
前期高齢者	70 ～ 74	3,002	29.8%	2割 ※現役並所得者は3割
	65 ～ 69	2,053	20.4%	
介護（2号）被保険者	40 ～ 64	3,008	29.9%	3割
	7 ～ 39	1,786	17.7%	
未就学児	0 ～ 6	216	2.2%	2割
計		10,065	100.0%	

2 税収と税率

・被保険者数の減少等により、税収は減少傾向にある。

収入額は還付未済分を除く

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年1月末	昨年同月比
現年課税分	調定額	1,231,985,900円	1,189,065,100円	1,129,287,200円	1,116,389,700円	985,183,300円	(△ 0.58%)
	収入額	1,156,605,573円	1,126,649,454円	1,073,162,553円	1,067,571,076円	728,584,808円	
	収納率	93.88%	94.75%	95.03%	95.63%	73.95%	
滞納繰越分	調定額	334,930,031円	311,230,960円	274,163,530円	251,580,065円	222,563,165円	(△ 4.25%)
	収入額	76,665,983円	87,216,693円	64,046,765円	60,198,750円	38,375,947円	
	収納率	22.89%	28.02%	23.36%	23.93%	17.24%	
合計	調定額	1,566,915,931円	1,500,296,060円	1,403,450,730円	1,367,969,765円	1,207,746,465円	(△ 1.29%)
	収入額	1,233,271,556円	1,213,866,147円	1,137,209,318円	1,127,769,826円	766,960,755円	
	収納率	78.71%	80.91%	81.03%	82.44%	63.50%	
収入額の前年度比率		(△ 11.52%)	(△ 1.57%)	(△ 6.32%)	(△ 0.83%)	-	-

（表）県内9市の税率

所得は43万円控除後 50代夫婦 固定資産税10万円

	県内9市の保険税率								【保険税試算】 所得 3,000,000 家族 2 資産 100,000					
	所得割	順位	資産割	順位	均等割	順位	平等割	順位	所得割	資産割	均等割	平等割	計	順位
都城市	16.15	1	30.20	4	39,100	7	36,600	3	484,500	30,200	78,200	36,600	629,500	1
日南市	15.25	3	35.40	2	43,800	3	31,800	7	457,500	35,400	87,600	31,800	612,300	2
小林市	15.65	2	17.47	7	37,900	9	36,500	4	469,500	17,400	75,800	36,500	599,200	3
串間市	14.20	6	40.90	1	41,100	5	37,100	2	426,000	40,900	82,200	37,100	586,200	4
えびの市	14.38	5	34.57	3	40,700	6	34,600	6	431,400	34,500	81,400	34,600	581,900	5
日向市	14.60	4	22.20	5	38,000	8	36,200	5	438,000	22,200	76,000	36,200	572,400	6
延岡市	14.05	7	18.50	6	43,200	4	30,000	9	421,500	18,500	86,400	30,000	556,400	7
宮崎市	13.90	8	0.00	－	45,200	2	31,400	8	417,000	0	90,400	31,400	538,800	8
西都市	13.43	9	0.00	－	45,900	1	41,700	1	402,900	0	91,800	41,700	536,400	9

3 医療費 と 保健事業

- ・ 当市の令和5年8月診療までの医療費は、団塊の世代が後期高齢者へ加入したことにより、前年同月比で 7.30%減少 している。市町村全体は微増している。
- ・ 当市の令和5年8月までの1人あたり医療費は、234,060円であり、前年同月より 2.1%減少 した。また、県内での順位は、高い方から 11位 である。

（表）医療費（3月診療分～翌2月診療分） 医療費のまとめから

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年8月	
医療費	金額（小林市）	4,953百万円	5,209百万円	5,179百万円	2,437百万円	3月～8月
	増減（金額）	(△ 184百万円)	(256百万円)	(△ 30百万円)	(△ 193百万円)	前年同月比
	増減（率）	(△ 3.58%)	(5.17%)	(△ 0.58%)	(△ 7.30%)	前年同月比
	金額（市町村全体）	102,571百万円	105,316百万円	104,244百万円	52,258百万円	3月～8月
一人あたり医療費	増減（率）	(△ 4.54%)	(2.68%)	(△ 1.02%)	(0.70%)	前年同月比
	金額（小林市）	427,539円	462,174円	478,044円	234,060円	3月～8月
	増減（金額）	(△ 1,744円)	(34,635円)	(15,870円)	(△ 5,037円)	前年同月比
	県内市町村順位	10位	8位	5位	11位	3月～8月
	金額（県平均）	397,778円	417,224円	430,527円	224,433円	3月～8月

（表）特定健診：受診率 、 特定保健指導：実施率 、 人間ドック：補助人数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年12月末
特定健診	受診率	42.9%	37.4%	42.7%	41.7%	29.4%
	受診者数	3,664人	3,151人	3,477人	3,216人	2,222人
特定保健指導	実施率	29.8%	70.2%	65.7%	63.1%	0.0%
	実施者数	121人	200人	243人	173人	0人
人間ドック補助	一般ドック	108人	55人	77人	50人	40人
	脳ドック	241人	133人	162人	179人	113人

1 計画の概要

別紙資料で健康推進課から説明。

1 令和6年度からの被保険者証（保険証）の発行について

- ・令和6年12月2日から紙の保険証の発行が廃止になります。12月1日以前にすでに持っている紙の保険証は有効期限まで使えます。
 - ・医療機関等で受診する時の資格確認は、マイナ保険証が基本となります。
 - ・マイナ保険証を持っていない人には、「資格確認書」を交付します。この「資格確認書」で受診することになります。
 - ・「資格確認書」には、保険証に書かれている内容と同様の内容が記載されます。（氏名、生年月日、住所、記号番号、適用開始日など）
 - ・マイナ保険証を持っている人には、「資格情報のお知らせ」を交付します。
 - ・「資格情報のお知らせ」は、資格確認のシステムを導入していない医療機関等でマイナ保険証と一緒に提示することで受診できます。
 - ・「資格情報のお知らせ」の記載内容は、氏名や記号番号、適用開始日などで、住所や生年月日は記載されません。
 - ・マイナ保険証の利用促進のため、国から、目標設定やチラシ配布、窓口対応時での説明で周知するよう通知がありました。
- ※マイナ保険証を持っている人とは、マイナンバーカードを持っていて、かつ、保険証登録をしている人です。

2 先進地視察研修について

- ・令和6年度予算に、先進地視察研修費が組まれました。委員13名と職員2名、運転手1名で計15名分。1泊2日。金額は約40万円。
- ・今後研修の内容や時期を決めていきたいと思います。（収納率や健診事業、県外か県内か、11月までに実施したい。）

3 委員の任期

- ・小林市国民健康保険運営協議会 委員 の現在の任期は、 令和4年5月9日 から 令和7年5月8日 までの 3年間 となっております。
- ・6年度は委員改選の準備を行います。秋頃から、継続していただけるかどうかのご案内をさせていただきます。その際はよろしくお願いします。

4 次期協議会の開催

- ・次期協議会の第1回定例会は、令和6年5月に開催予定です。

任期 令和4年5月9日～令和7年5月8日

区分		推薦団体	氏 名	備 考
公益代表	1	区長会	高 妻 賢 士	会長 平成27年5月9日～
	2	区長会	山 田 博	令和4年5月9日～
	3	民生委員・児童委員協議会	吉 脇 辰 男	副会長 平成29年5月9日～
	4	民生委員・児童委員協議会	柿 木 由 紀 子	令和4年5月9日～
保険医代表	5	医師会	園 田 定 彦	令和3年9月1日～
	6	医師会	竹 之 内 剛	令和3年9月1日～
	7	歯科医師団	丸 野 克 之	令和3年8月1日～
	8	薬剤師会	福 森 一 真	平成25年5月9日～
被保険者代表	9	野尻地区（男性）	岩 松 浩	平成20年1月1日～
	10	野尻地区（女性）	竹 山 真 弓 美	平成29年5月9日～
	11	須木地区（女性）	有 木 鈴 子	令和元年5月9日～
	12	小林市消防団	芝 原 靖 彦	令和4年5月9日～
被用者保険代表	13	宮崎県市町村職員共済組合	谷 口 憲 司	令和5年7月1日～

小林市国民健康保険事業の運営に関する協議会規則（抜粋）

（権限） 協議会は、市の国民健康保険事業の運営に関する重要事項について、市長の諮問に応ずるとともに、必要があるときは、市長に意見を述べることができる。

（定足数） 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

職員紹介	市民生活部長：鷗野 裕一	ほけん課長：岩下 経一郎	ほけん課総務GL:平田 悟	ほけん課後期GL:谷山 智子
			ほけん課納税GL:山元 康敬	健康推進課健康増進G:川原 真砂子
			ほけん課国保GL:西 清志	健康推進課健康増進G:炭床 ともみ